

＜校務利用＞ ① 教員向け研修会の実施

- ① 7月 10日 教育DXのためのロードマップ
- ② 8月 5日 様々な生成AIと暫定的なガイドライン
- ③ 12月 18日 ラーニング・アシスタントとしての生成AIの活用



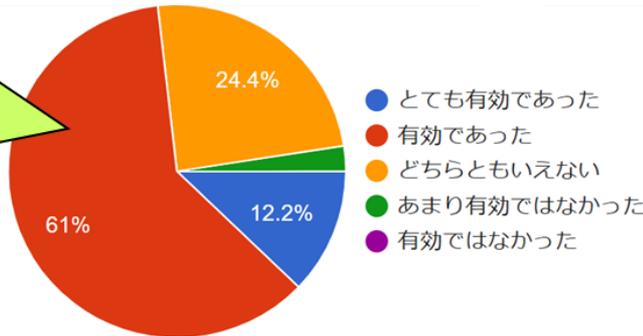
鹿児島市教育委員会教育DX担当部長
/文部科学省学校DX戦略アドバイザー
木田 博 先生 による指導・助言



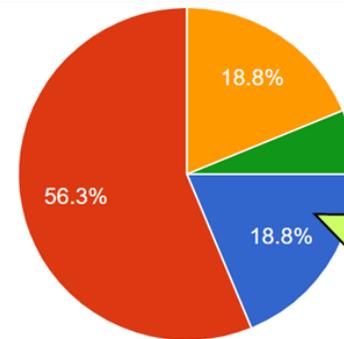
主な校務利用例：指導案作成の際に補助的に活用（学習過程や評価）

集団討論や小論文のテーマを作成、作文の添削に活用

約73%の教員が、生成AIの研修は、教育での活用に有効であったと考えている。



約75%の教員が、生成AIの授業での活用が、生徒の学びに効果的であったと考えている。



＜教育利用＞ ① 生徒への研修会の開催・保護者への同意および周知

【生成AI研修会の開催】

授業での生成AI導入にあたって、外部講師を招き研修会を行った。生徒には、生成AIとは何か、どのような危険性があるのかを意識させながら、実際に生成AIに触れることで、生成AIの仕組みだけでなくファクトチェックの必要性や著作権に関する情報を提示した。

最後に、生徒自身がこれからの生活の中で生成AIとどのように付き合っていくのかを考えさせた。

【保護者への同意書配付】

本校において、教育での生成AIの活用を進めることについて、家庭内の利用については規約に従って、保護者の同意や権利侵害の危険性などに留意するよう全家庭に配付し、周知した。



目次

1. 生成AIを学ぶ

AIとは？/生成AIとは？/どんなサービスがある？/
何ができる？/何ができない？/展望は？

2. 使い方を学ぶ

基本的な考え方/具体的な使い方/注意点

3. 生成AIと付き合う上での注意点

犯罪/プライバシー保護/知的財産権/ファクトチェック/バイアス

4. まとめ・将来の話



教育活動における生成 AI (Gemini 等) 活用のお知らせ

初夏の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、感謝申し上げます。

さて、「教育活動における生成 AI 活用」について、下記の通りお知らせいたします。

今回のお知らせは、文部科学省リーディング DX スクール事業・令和6年度生成 AI パイロット校に認定されたことを受けて、生成 AI 活用のメリット、デメリット、リスクなどをご理解いただくことを目的としています。

生成 AI の活用により、個別最適な学びが効果的に行われ、課題解決能力や学習モチベーションが向上し、主体的な学びも強化されます。ただし、不正確な情報提供や倫理的問題、過度の依存などのデメリットも存在します。

本校では、これらのメリット・デメリットを踏まえた上で、教員のサポート役や文書等の作成(Gemini)、画像・音楽の制作において生成 AI を活用し、生徒たちの批判的思考力や問題解決能力、自己認知能力などを育成することを目指していきます。

保護者の皆様におかれましては、お子様が AI 活用時代において、よりよい未来を築き、幸福に生きていく力を身につけていくためにも、本件にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。説明資料をご覧いただいた上で、下記の専用アンケートフォームに同意をお願いいたします。同意されない場合は、その旨をお知らせください。

【特に確認して同意いただきたい事項】

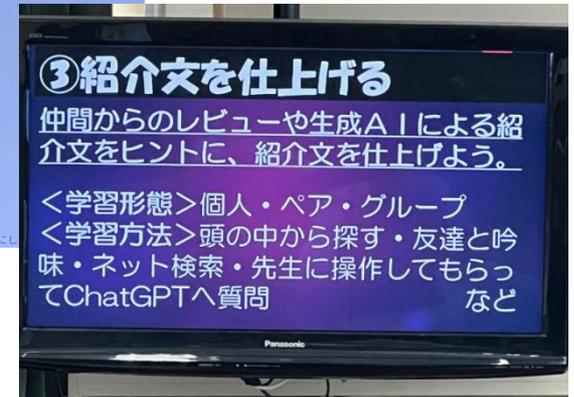
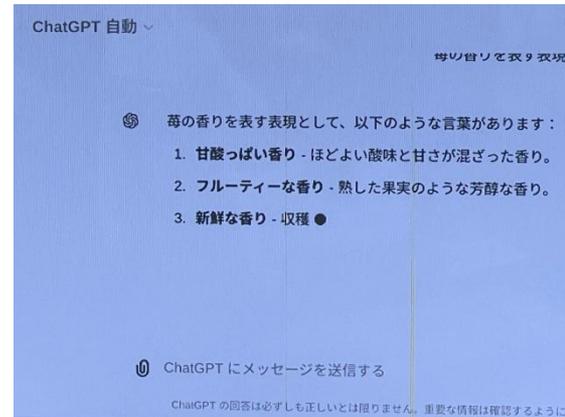
- ・個人情報の取り扱い(収集される個人情報・個人情報の活用目的・個人情報の第三者提供等)
- ・学習機能(入力した内容が Gemini に学習されること、会話には機密情報を入力しないこと等)
- ・Gemini アプリは現在も進化の途上にある新しいテクノロジーであるため、生成される情報は不正確、不快、または不適切な場合があること等

＜教育利用＞ ③ 1年国語科の実践「生成AIが作成した紹介文を吟味する活動」

【紹介文での生成AIの利用】

1年国語科「紹介文」の単元において、本実践は、紹介する対象の写真をChatGPTに読み込ませ、プロンプトの入力によって生成された100字程度の紹介文を提示し、その吟味をさせ

た。また、ChatGPTの紹介文を参考にしながら、「自分だったらどのように作るか？」という課題意識をもたせつつ、自分自身の紹介文を推敲させた。その際、ChatGPTとやりとりをさせることで、いろいろな表現の仕方についても考えさせ、自身の紹介文に反映させた。



【主な成果と課題】

○教師が使用することで、ChatGPTの年齢制限にかかりながらも授業に組み込めた。

○自身に合った方略を選択しながら、効果的に学習を進められた。

● 価値判断を含めた課題を設定する。

● 活用モラルが醸成されていない場合、指導者側でのツールの制限が難しい。

<教育利用> ③ 2年外国語科の実践 「生成AIとともに比較表現について深める活動」**【生成AIの音声機能の活用】**

2年外国語科「比較」の単元において、自分が決めたトピックに対して比較表現を用いながら紹介文を作成する活動に生成AIを利用した。生徒自身が作成した発表原稿をChatGPTに読み込ませ、添削させたり、その原稿をChatGPTに音読させ、それを模範としながら発音の練習を行ったり、自分の音声を入力し、正しく発音できているか確認させたりした。生成AIを伴走者としながら、様々な表現についても学ばせ、自身の紹介文に反映させた。

**【主な成果と課題】**

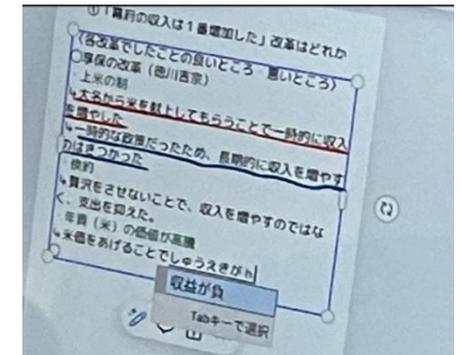
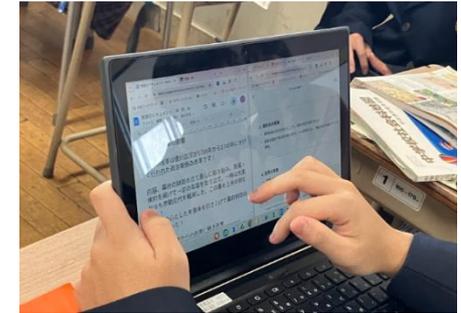
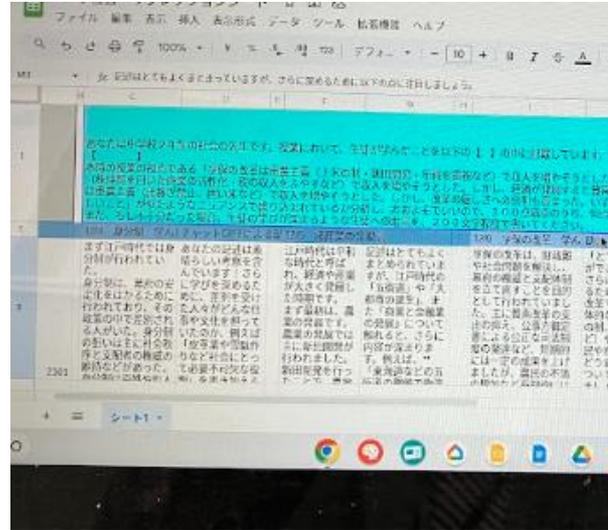
○ChatGPTによる原稿の添削や模範音読、発表の仕方の助言で原稿が精査され、より伝わりやすい表現への道筋を明確にすることができた。

●ChatGPTにより細かい指示を与えたり、生徒自身が発表準備をしたりする中で、Chat GPT等の活用の必要性を感じるような手立てを用意するべきである。

＜教育利用＞ ③ 2年社会科の実践「生成AIとともに考えをまとめる活動」

【評価の際の生成AIの活用】

2年社会科「江戸時代」の単元において、3つの改革の内容・背景をおさえつつ、類似点と相違点を考えさせる場面において、生成AIを活用した。生徒には、「幕府の収入を一番増やした改革はどれか」という視点を与え、教科書やインターネット検索、ChatGPTの助言を受けつつ、まとめさせた。最後に、本時で学んだことをまとめさせ、あらかじめ教師が視点や評価基準を設定したプロンプトとともにChatGPTに入力することで評価・助言を生成させ、今後の学習の参考にさせた。



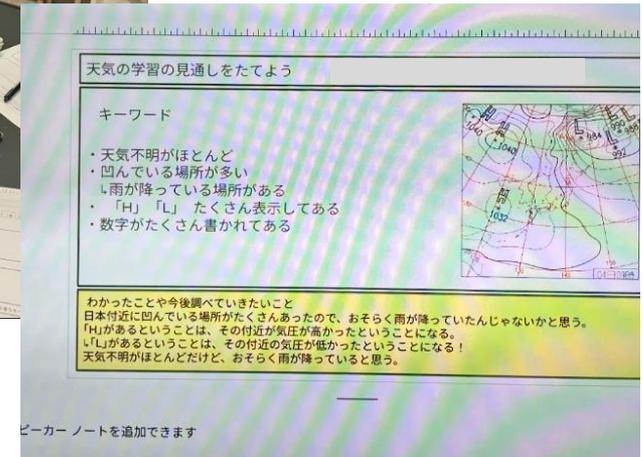
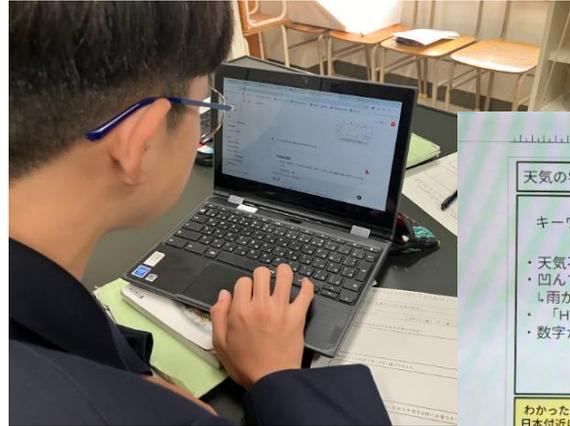
【主な成果と課題】

- 生徒が生成AIを活用した授業に慣れてきたため、積極的に情報を得ようとする姿がみられた。
- ChatGPTの活用で、習得してほしい視点を点数化できた。
- 知識をどれだけ習得しているかの見取りが難しい。

＜教育利用＞ ③ 2年理科の実践 「生成AIとともに学習の見通しを立てる活動」

【導入での生成AIの活用】

2年理科「天気」の单元において、天気図を読み取り、日々の天気予報ができるようになるためにどのような学習が必要か見通しを立てさせる際に生成AIを活用した。まず天気図から天気を予想させ、天気図をChatGPTに読み込ませ、天気予報をさせる。その後、実際の天気との違いやChatGPTがなぜそのように天気予報を行ったか尋ねるなどChatGPTとやり取りをさせることで、天気図の読み取りに必要な知識や考え方について見通しをもたせた。



【主な成果と課題】

- 生成AIが誤りを含む可能性を理解させつつ、実際の情報と比較させながら、主体的に天気について学習することができた。
- 生成AIを学習の伴走者として活用し、個々のペースで学びながら、スライドの共有など他者を参照できることも生徒の学習の手助けとなった。
- 学習計画の作成までいきつかない生徒もいたため、単元計画の検討が必要である。